

皆さんのエコ活動を応援します！

相模原市立環境情報センター

事業協力者登録制度 「エコネットの輪」

持続可能な社会の構築を担う、市民活動団体や事業者、大学、行政などから、環境学習プログラムや環境情報を提供していただき、地域や学校の環境学習や環境活動をサポートしていくシステムです。

エコネットの輪プログラム集をご活用ください！

エコネットの輪に登録いただいた環境学習プログラムや貸出教材を掲載しています。幼稚園や学校での環境教育や、自治会で省エネについて教えてほしい、子ども会でエコ工作がしたいなど、地域での環境学習に活用してください。プログラム集は公民館や図書館などに置いてあるほか、環境情報センターのホームページに掲載しています。



お気軽に環境情報センターに
相談してください！

環境情報センターは、環境の保全及び創造に関する学習の推進と環境活動の促進を図ることを目的とした事業を実施しています。今回は、エコネットの輪を紹介します。



エコネットの輪 プログラム実施例

楽しい省エネ教室

100年後の地球の映像などをみて地球温暖化（気候変動）について学び、実験やゲームを体験して省エネを学びます。



地球と身体にやさしいエコ味噌作り

おからを使うことによって、電気やガスなど火を使わずに短時間で味噌を仕込む方法を学びます。



環境のちよこつと話 No.23

「きれいになった相模川」

20年ほど前まで、相模川の河川数は不法投棄によるごみが多くみられました。しかし、相模川を管理する県のパトロールや市民の清掃活動のおかげで、今ではごみが減ってきています。

また、昔は生活排水がそのまま川に流されていたため、川の水は汚れていましたが、現在は下水道が整備され、県内の他の川と比べてもきれいな川といわれています。

川のまわりで人々が生活していれば、どうしても汚れの原因となるものが雨水などといっしょに流れ込んでいきます。それでも川の水をきれいに保てるのは、水の流れの力と生きものたちのいとなみのおかげです。

流れによって汚れがたまることなく分散し、それをたくさん小さな生きものが活動する中で食べ物として取り込んだり、分解したりします。

こうした川のいとなみと、そこに息づく生きものたちの生活を支えるのは、豊かな水の流れです。そして、その流れがたえず変化しながらさまざまな環境をつくりだしていることが大切なのです。



相模原市立 環境情報センター

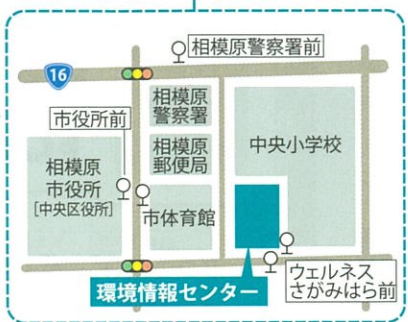
〒252-0236
相模原市中央区富士見 1丁目3番41号
TEL. 042-769-9248 FAX. 042-751-2036

- Eメール kankyo@eic-sagamihara.jp
- ホームページ <http://www.eic-sagamihara.jp/>
- 開所時間 午前9時～午後5時
- 休所日 毎月第3木曜日、年末年始、施設点検日



交通

- JR相模原駅から
 - ① 徒歩約20分
 - ② バス「市役所前」下車徒歩1分「ウェルネスさがみはら前」下車すぐ
- JR上溝駅から
 - ① バス「市役所前」下車徒歩1分
- 車でお越しの方
環境情報センター及び周辺の市役所駐車場をご利用ください（2時間までの駐車は無料）
なるべく公共の交通機関をご利用ください。



センターニュース夏号はいかがでしたか？ みなさまのご意見ご感想をお寄せください。お待ちしております



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

環境情報センター NEWS

夏号

平成27年7月1日発行

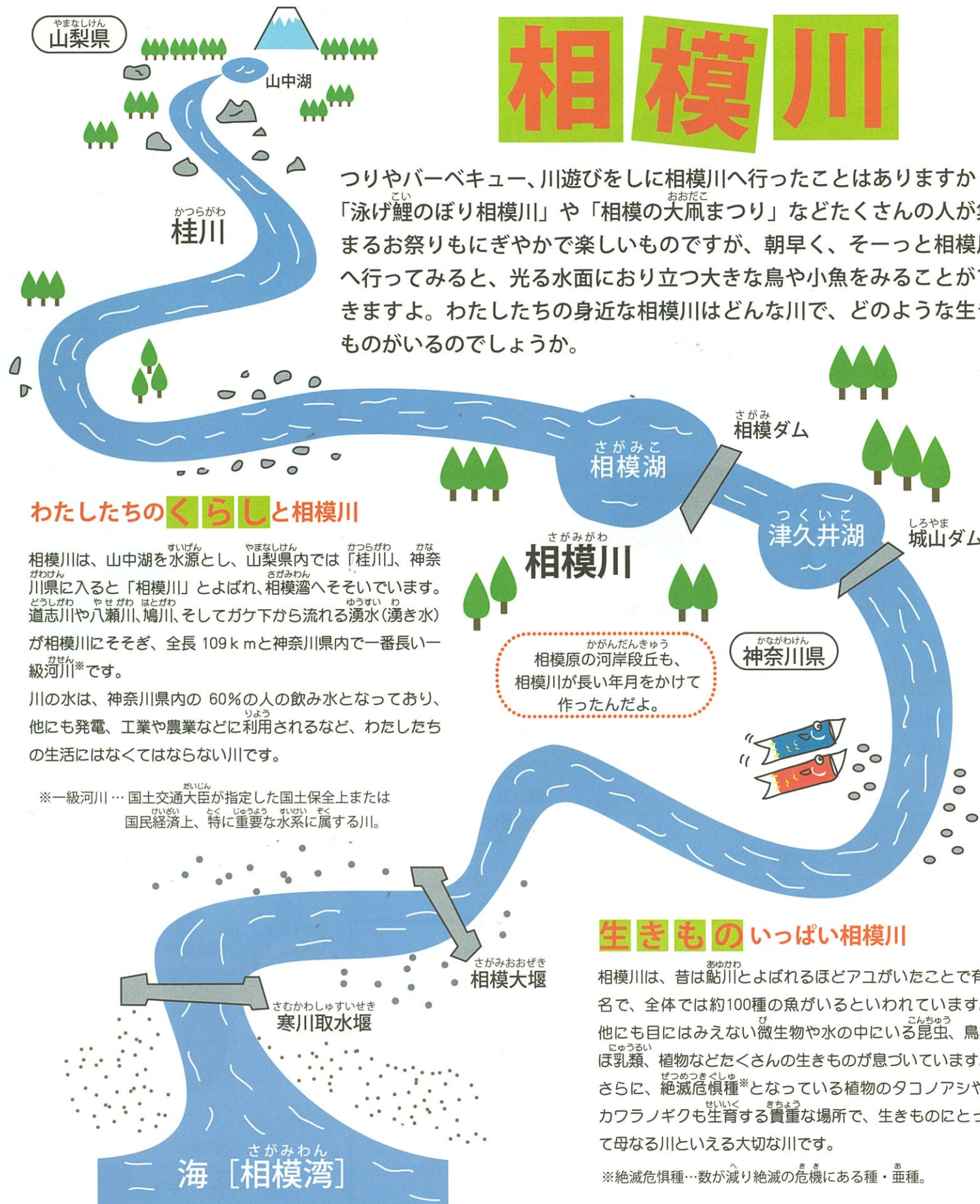
発行：相模原市立環境情報センター

指定管理者

NPO 法人さがみはら環境活動ネットワーク会議

さがみかわ

相模川



つりやバーベキュー、川遊びをしに相模川へ行ったことはありますか？「泳げ鯉のぼり相模川」や「相模の大凧まつり」などたくさんの方が集まるお祭りにもぎやかで楽しいものですが、朝早く、そーっと相模川へ行ってみると、光る水面におり立つ大きな鳥や小魚をみることができますよ。わたしたちの身近な相模川はどんな川で、どのような生きものがいるのでしょうか。

わたしたちのくらしと相模川

相模川は、山中湖を水源とし、山梨県内では「桂川」、神奈川県内では「相模川」とよばれ、相模湾へそそいでいます。どうしがわや八瀬川、鳩川、そしてガケ下から流れる湧水（湧き水）が相模川にそそぎ、全長109kmと神奈川県内で一番長い一級河川*です。

川の水は、神奈川県内の60%の人の飲み水となっており、他にも発電、工業や農業などに利用されるなど、わたしたちの生活にはなくてはならない川です。

*一級河川…国土交通大臣が指定した国土保全上または国民経済上、特に重要な水系に属する川。

生きものいっぱい相模川

相模川は、昔は鮎川とよばれるほどアユがいたことで有名で、全体では約100種の魚がいるといわれています。他にも目にはみえない微生物や水の中にいる昆虫、鳥、ほ乳類、植物などたくさんの生きものが息づいています。さらに、絶滅危惧種*となっている植物のタコノアシやカワラノギクも生育する貴重な場所で、生きものにとって母なる川といえる大切な川です。

*絶滅危惧種…数が減り絶滅の危機にある種・亜種。

さあ、相模川に行ってみよう！

相模川は、まっすぐではなく、ゆるやかに曲がっています。水の力が長い時間をかけてゆっくり土地をけずっていったのです。川が曲がると水の勢いがゆるやかになり生きものがすみやすくなります。山にあった大きな石も、川のはたらきによって、けずられて運ばれ、下流にいくほど角が取れて丸くなっていきます。丸くなった石が河原に集まり丸石河原となり、そこを好むカワラノギクなどが育ちます。

相模原市内を流れる相模川の中流域には、中洲やワンド、平瀬、早瀬、淵など様々な場所があり、それぞれの場所に特有の生きものがくらしています。

ワンド

川岸が湾状に入りこんだ水たまりのようなところ。

ワンドにすむ生きもの



ここは卵をうみやすいコロロ♪

鳥にみつからないようにかくれることができるよ

シレーゲルアオガエル



ここがワンドだよ！

平瀬(ひらせ)

水深が浅く、流れがやや速いところ。太陽の光が川底までとどくため藻類がよく育つ。

平瀬にすむ生きもの



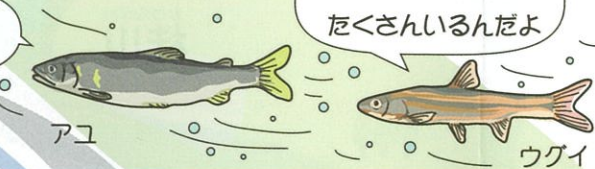
藻がおいしいな

カゲロウの幼虫

早瀬(はやせ)

水深が浅く、流れが速いところ。酸素が多いため、藻類や水生昆虫がたくさんいる。

早瀬にすむ生きもの



わたしは泳ぐ力が強いの！

大こうぶつの虫がたくさんいるんだよ

早瀬

ガケ

中洲(なかす)

上流からきた土砂などが川の中にたまった島。水鳥のすみかになっている。

湧き水

平瀬

ヨシ原

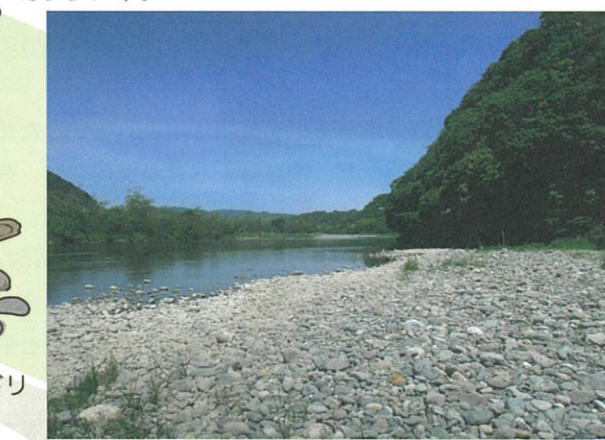
丸石河原(まるいしがわら)

大水で洗い流された後に丸い石がゴロゴロと残ったところ。

丸石河原にすむ生きもの

日がてりつけて、風が強くてへいきなの。

カワラノギク



石の間に卵をうむのよ

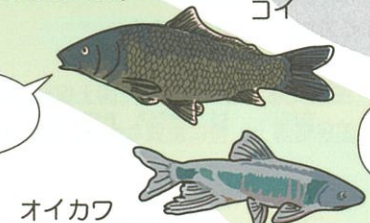
イカルチドリ

淵(ふち)

水深が深く、流れが穏やかなところ。

淵にすむ生きもの

流れがゆるやかなところが好きなんだ



赤ちゃんを育てやすいんだよ

オイカワ

ひとりでは行かないでね。

川は立ち入り禁止の場所もあるんだよ。

車で入ってはいけない場所もあるので、気をつけてね！

川底はすべりやすく、深いところもあるから注意しよう！

帰るときは、必ずごみがないか、川を汚していないかたしかめよう。



さがみエコはらなかま

相模原市立 湘南小学校
カワラノギクを守ろう！

カワラノギクを知っていますか？ キクに似た小さな花をつける植物で、丸石の河原に生息します。実はこのカワラノギク、とても数が少なく、絶めつしてしまうかもしれないと言われています。



そんな貴重なカワラノギクを大切に守ろうと 2001 年から活動しているのが、相模原市立湘南小学校の3年生と4年生のみなさんです。

5月になると、それぞれ自分の担当を決めて、きれいな花が咲くよう大切に世話をします。『カワラノギク』を守る会の方の協力もあり、秋の開花時期には、



昼休みに全校生徒や地域のみなさんでお花見やスケッチなどをするそうです。



この活動を通じて、「他の植物も大切にしたい」「カワラノギクを自分たちの地域のじまんにしたい」など、みんなの自然に対するきょうみが深まったと、先生方も話してくださいました。みなさんも、カワラノギクを見つけたら、大切に見守ってくださいね。

行ってみよう！ 新しくなった「相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら」

相模川にすむ生きものを、常時 100 種類以上展示しています。餌づけやふれあい体験、ものづくりワークショップをはじめ、夏休みには昆虫をテーマとする特別企画展も開催します。

開館時間 9:30 ~ 16:30 (最終入館 16:00)
月曜日休館 (祝日や長期休暇期間は開館)
高校生以上 300 円、小中学生 100 円、幼児 無料
<http://sagamigawa-fureai.com/>



〒252-0246
相模原市中央区水郷田名 1-5-1
Tel: 042-762-2110

読んでみよう！ 環境情報センターの図書コーナーにあります。



川の自然かんさつ 「川の自然かんさつ 自然かんさつ学入門」 財団法人 日本自然保護協会 発行



「身近にある自然のめぐみ 川の大研究 生き物や人のかかわりを探ろう！」 上田孝俊 監修 (株)PHP 研究所刊

川に親しみ、川の自然を守ろう

水が豊富で、多くの種類の生きものが生息する相模川は自然度が高い川といえます。わたしたちにとっては好ましくない洪水や渇水などによる川の変化も、多様な河原の環境を作り、多くの生きものの生活をささえています。相模川がずっと自然豊かであるように、相模川をもっと知り、もっと親しみ、大切にしていきたいと思います。

協力：相模原市立博物館